

日刊建設工業新聞（2020年10月19日付3面掲載）

【オリコンサル 白川の激特事業でグッドデザイン賞】



改修が完了した白川

## 白川の激特事業で グッドデザイン賞

オリコンサル

熊本県内を流れる白川の河川激甚災害対策特別緊急事業（激特事業）で、築堤などの設計を手掛けたオリエンタルコンサルタンツが日本デザイン振興会（川上

元美会長）のグッドデザイン賞を受賞した。2012年7月に九州北部を襲った豪雨を受け、同社は九州地方整備局と県から設計などを受注。官民と連携しながら業務を進めた点が評価を受けた。

激特事業は白川水系の白川と黒川で実施した。オリコンサルは、白川に架かる龍神橋（小碓橋区間（延長約9・4キロ）の河道掘削や築堤などで設計とデザイン業務を受託。約7年の工事期間を経て1月に完成した。

同社は河川改修に当たり河川への影響を最小限に抑えるよう配慮。地域に親しまれる良好な景観づくりと住民の防災意識向上に貢献した。激特事業は全日本建設技術協会（大石久和会長）が主催する全建賞も受賞した。